

ベンチャー創造の好循環 の実現に向けて

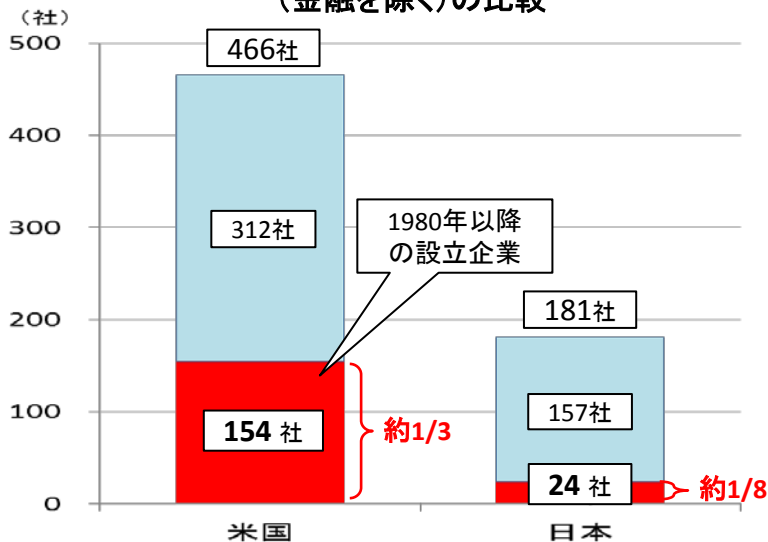
平成26年4月16日

茂木経済産業大臣提出資料

1. ベンチャーの必要性

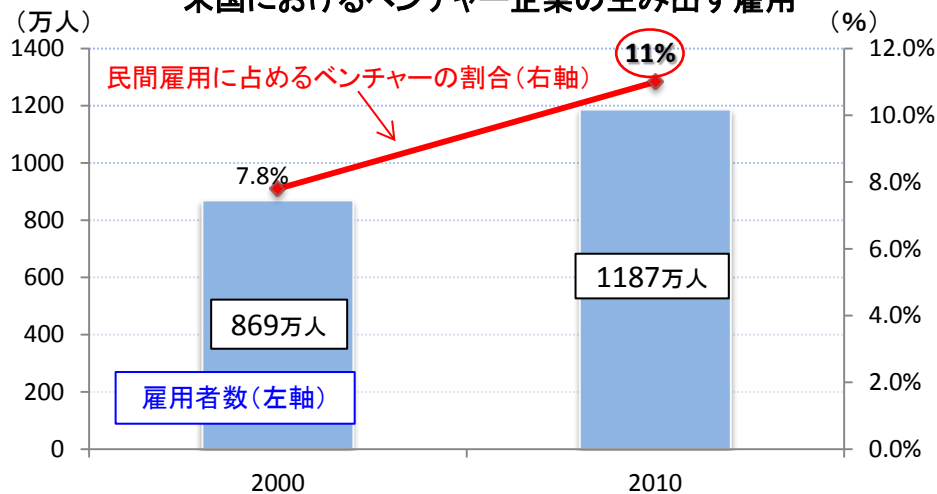
○多くの雇用を生み出し、経済のエンジンとなるのはベンチャー。

世界トップ2000社の内、1980年以降設立企業
(金融を除く)の比較



(資料) Forbes Global 2000 2013のデータより作成。

米国におけるベンチャー企業の生み出す雇用



(資料) NVCA, iHS global insight「Venture Impact」2011年
※「ベンチャー企業」はベンチャーキャピタルが出資した企業

○ベンチャーとは、既存企業の事業革新も含めた企業としての新しい取組への挑戦。ビジネスイノベーションの創造者としての役割が期待される。

健康・医療

<CYBERDYNE(株)>

サイバニクス技術を応用したロボットスーツHALにより、介護現場や工場での重労働を支援。



エネルギー

<エリーパワー(株)>

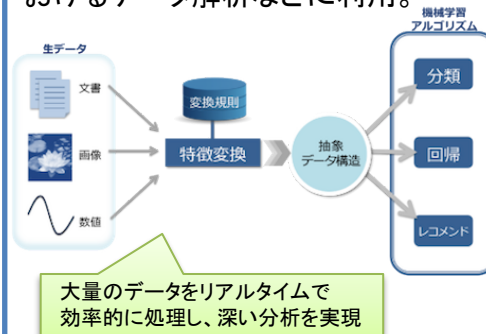
スマートハウス向けの大容量リチウムイオン電池を販売。標準的な家庭の電力消費量の半分以上をまかなえる。



IT

<(株)Preferred Infrastructure>

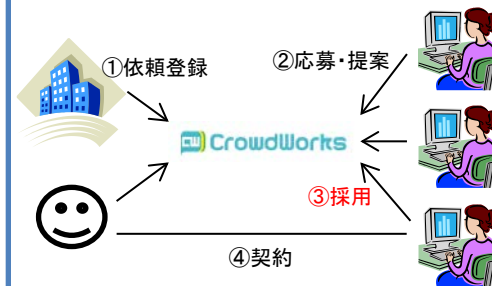
ビッグデータをリアルタイムに処理する世界最高水準の技術を開発。機器の故障予測やiPS細胞研究におけるデータ解析などに利用。



サービス

<(株)クラウドワークス>

インターネットを通じて不特定多数の人に対して受注者を公募し、業務を外部委託するクラウドソーシングサービスを提供。



2. ベンチャー創造の好循環の実現に向けて

- 「ベンチャー創造の好循環」を形成し、世界で勝てるベンチャーを創出。
- ビジネスイノベーションの推進を通じて、サービス産業等、既存産業の生産性向上を目指す。

1. 日本経済全体でのベンチャー創造

(1) ベンチャー創造協議会の創設

- －「ベンチャー創造協議会(仮称)」を創設し、先進的取組をベンチャー連携先進企業100選としてモデル選定するなど、ベンチャーと大企業の「出会いの場」を増やし、オープンイノベーションを促す。
- －地方都市を含めた各地で既存の企業群や市民らが起業を応援する「誰もが起業家応援社会」を構築。

(2) 出口戦略としてのM&A促進

- －国際会計基準の適用促進を図るとともに、ベンチャーのニーズを踏まえた運用改善を実施

(3) ガバナンス強化等によるスピノフ、カーブアウトの促進

- －外部取締役や金融機関・機関投資家等によるガバナンスの強化や、兼業・副業等の柔軟な働き方を許容することなどによる、スピノフ・カーブアウト促進の仕掛け作り

(4) 官民ファンド・クラウドファンディング

- －官民ファンドやクラウドファンディングによるベンチャー投資の加速を図る。また、成長に適した資金調達・組織運営のための種類株式促進の方策を検討

2. 大胆な制度改革

(1) 政府調達におけるベンチャー活用の推進

- －弾力的な入札条件の設定等

(2) ベンチャーへの思い切った税制措置等

- －エンジェル投資やスピノフ・カーブアウトの促進等

(3) 公的・準公的資金の運用等見直し

- －公的・準公的資金の運用等の在り方について、各資金の規模・性格に応じ、長期的な健全性の確保に留意しつつ、必要な施策を迅速かつ着実に実施すべく所要の対応を行う

(4) 国家プロジェクトによるベンチャー支援

- －DARPA型スキームの創設や中小・中堅・ベンチャー向け目標設定等

3. 人材: 挑戦するベンチャーを支える 意識改革・起業家支援

(1) 初等教育からの起業家教育

- －土曜日等を活用した起業疑似体験授業やプログラミング教育などのモデル事業の実施、指導事例作成・普及

(2) 大学・大学院における実践的起業家教育

- －より高度な教育を行うための教員ネットワークの強化や海外機関との連携

(3) ベンチャー支援人材10倍増

- －トップクラスのベンチャー支援人材のネットワークを作り、モデル事業によりノウハウを横展開
- －リーンスターアップの支援枠組を構築

(4) ベンチャー表彰制度による意識改革

(5) ダイバーシティを活かす起業家支援

- －多様な人材を活用したベンチャーを創出するための低利融資制度の拡充